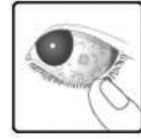


雪目(ゆきめ)・電気性眼炎(でんきせいがんえん)・雪眼炎(せつがんえん)

主な症状

まぶしい、異物感、眼の痛み、涙、眼瞼(がんけん=まぶた)のけいれん。



異物感



なみだ

どんな病気？

よく言われる雪目(ゆきめ)は電気性眼炎(でんきせいがんえん)・雪眼炎(せつがんえん)と同じくどちらも、紫外線の多い光線にさらされたときに起きます。電気性眼炎は電気溶接や人工太陽灯によるものを、雪眼炎はスキーなどによるものをいいます。光にさらされて6時間から10時間くらいして急に症状が出始め、症状が重い場合は目を開いていられなくなります。角膜の炎症や角膜上皮剥離(かくまくじょうひはくり)を伴っている場合も多く、治療は目薬の点眼が中心となります。紫外線は眼(角膜)にとても悪いものですから、紫外線が強いときには必ずサングラスを装着するようにしましょう。

対処Q&A

Q 検査のみ所要時間は？

A 約10分です。

Q サングラスはどのようなものがいいのですか？

A 紫外線をカットするサングラスを使用することは有効ですが、色が濃すぎると光を遮りすぎて瞳孔(どうこう)を散大させ、かえって眼の中に入る紫外線が多くなってしまう場合もありますので、極端に濃くない物がいいでしょう。また、UVカットの表示がないと紫外線を遮断する効果がありません。

コンタクトレンズやメガネ着用者へのアドバイス

症状がでたら、メガネの使用をおすすめします。どうしてもコンタクトレンズを使用しなければならないときは、まずは眼科で相談してください。最近は紫外線をカットするコンタクトレンズも出ていますが、雪山等日差しの強いところではサングラスとの併用が必要です。



月額1,890円(両眼)からの定額制コンタクトレンズ『メルスプラン』!

メルスプランは、月額1,890円からの毎月定額の料金で高酸素透過性のハードレンズや新素材シリコーンハイドロゲル使い捨てソフトレンズ(2週間使い捨て)等メニコンの全てのコンタクトレンズから選ぶことができます。新素材シリコーン使い捨てソフトレンズは乾燥を軽減し、ハードレンズ並みの高酸素透過性もあります。また、使用者のニーズや目の状態に合わせて種類変更もできます。

米倉眼科

滋賀県の守山市と草津市の南草津に医院をもち、一般眼科診療、白内障の手術、コンタクトレンズ、メガネ処方などを行っております。

守山本院 TEL 077-583-2134

JR守山駅前西口小島ビル5F 定休日：木曜午後、日曜、祝日

南草津分院 TEL 077-569-1288

JR南草津駅徒歩3分(MNK-3ビル)3F 定休日：水曜日、日曜、祝日